



# 2018年度北海道地区 床ずれセミナー



日時

2018年10月27日(土)

9:25~17:00 (受付9:00開始)

会場

TKP 札幌駅カンファレンスセンター

(〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目9)

ベルヴェオフィス札幌3F)

対象者

医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、介護支援専門員、介護福祉士、ヘルパー、福祉用具専門相談員、一般、学生、他

定員

160名

参加費

会員	2,000円
非会員	4,000円
学生	1,000円

※本セミナーは日本褥瘡学会認定講習会(申請中)です。



全国テーマ 『だって、褥瘡があるから...』

## いまだ経験のない高齢化社会、医療スタイルの変化

我が国は今後、いまだ経験のない高齢化社会を迎えます。それとともに、国は在宅医療をはじめ、遠隔医療の導入など新たな模索が始まっています。国民が医療を享受するスタイルは確実に変化し、医療費抑制政策もあいつつ混沌とした時代となりそうです。私は皮膚科医であり、褥瘡をはじめ様々な皮膚疾患は直接患者さんを拝見しないと正しい診断と治療はできないと考える向きですが、さりとて異論ばかりを唱えていると情報通信技術の急速な発達により、近くの在宅の患者さんを遠く離れた異国の医療従事者がフォローするという笑話のような現実が訪れるかもしれません。

### 在宅現場での愛護的な診療と 情報通信技術の応用が重要。

やはり、医療の基本は対面診療であり、ヒトとヒトのふれあいを基盤にしたものでなくてはなりません。他からの批判に耐えうる知識と技量をもった医療従事者が、在宅現場で愛護的な診療そしてケアをしてこそ、世界的にもハイレベルな在宅医療が展開できるとともに、お互いの分野の褥瘡学ともいえる基礎知識を共有し、上手に情報通信技術を応用することが重要になるでしょう

「この患者さんは遠隔モニターで十分でしょっつ。」  
「バイタルをみて、家族にLINEで指示すればいいでしょっつ。」  
「でも、見に行きます。」  
「だって、褥瘡があるから...」

2018年度全国会長 安部 正敏



# 2018年度 北海道地区床ずれセミナー プログラム(予定)

- 09:00～09:25 受付
- 09:25～09:30 開会の辞 地区会長 芳賀 理己 先生(中村記念病院 看護師長)
- 09:30～09:45 全国会長ビデオ講演 『未定』  
演者：安部 正敏 先生(札幌皮膚科クリニック 院長)
- 09:45～10:15 理事長講演『褥瘡の原因を改めて考える』  
演者：大浦 武彦 先生(日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 理事長)  
(医療法人社団 廣仁会 褥瘡創傷治癒研究所 所長)
- 10:15～10:45 地区会長講演『褥瘡ケアナビの見方と在宅協について』  
演者：芳賀 理己 先生(社会医療法人医仁会中村記念病院 看護師長)
- 10:45～11:45 特別講演『言語聴覚士が行う口腔ケアと食支援ーその方の生きるを支えるー』  
演者：源間 隆雄 先生(麻生脳神経外科病院 言語聴覚士)
- 11:45～12:00 展示見学・休憩
- 12:00～12:30 企業プレゼン (5社)
- 12:30～13:10 ランチョンセミナー『オムツのあて方・トイレ介助』  
鬼対応と神対応：床ずれアクターズ
- 13:10～13:20 休憩
- 13:20～13:50 一般演題 (3演題：発表7分、質疑3分)
- 13:50～14:35 教育講演 I 『“歩き続ける”を支えるフットケア』  
演者：佐藤 明子 先生(北海道医療大学訪問看護 ST 管理者)
- 14:35～15:00 展示見学・休憩
- 15:00～16:00 シンポジウム『褥瘡予防のためにあなたは何をしていますか?』  
＜シンポジスト＞介護福祉士、訪問看護師、作業療法士、皮膚・排泄ケア認定看護師
- 16:00～17:00 教育講演 II 『おうちでつくる介護食クッキング入門』実技セミナー  
演者：真井 睦子 先生(栗山赤十字病院 管理栄養士)
- 17:00 閉会の辞

